



雇用就農に最適化した
あたらしい農業学校

令和6年
4月開校

第1期生募集開始



かがやく
みらいが、
ここから
はじまる。



福島県
南相馬市



みらい農業学校

第1期 募集要項

Ⅰ みらい農業学校とは

近年、農業従事者の高齢化に伴い、農業法人等への農業の集約化が進んでいます。

そのため、新規就農を志す方も、従来の独立就農から雇用就農を目指す方が増えてきていますが、独立就農は「経営」であり、雇用就農は「就職」です。

経営と就職では、当然、求められるスキルも大きく異なりますが、みらい農業学校では、これから雇用就農を目指す方にとって必要な学びを１年間で凝縮して学ぶことができます。（詳しくは以下「みらい農業学校の特徴」をご覧ください）

農業者は、長年経営をしてきた熟練経営者です。私たちは、農業の世界に一步踏み出す皆さんを、いきなり独立就農させる方向性が正解だと考えていません。

まずは環境が整っている農業法人等で就職し、農業を実際に経験した後に、幹部候補生を目指す、独立就農を目指すといったキャリアアップをする方向性が望ましいと考えています。

これらのキャリアアップを実現するために、みらい農業学校では、地域の農業を牽引できる人材育成を行うとともに、次世代農業の視野を涵養し、市立の農業学校の優位性を活かした地域農業法人との連携・就職までのコーディネートを行い、皆様が安心して農業の世界の一步を踏み出せるようにサポートしていきます。

Ⅱ みらい農業学校の特徴

特色① 全日制の超実践型カリキュラム

１年間の実習・座学を通じて、農業の栽培技術や経営を受講生が主体的に学びながら、卒業後の就農をイメージした技術の習得ができる他、資格や免許の取得の機会も得られます。

特色② 広範なネットワークの活用

地域の農業生産法人や JA、メーカー等関係者との確かなネットワークができるほか、多様なカリキュラムを形成する業界トップの講師陣と繋がることで、卒業後の進路やキャリアに活かれます。

特色③ 学びの環境徹底サポート制度

市立だからこそできる！入学前・在学中・卒業後に次々と見えてくる課題や不安にも、南相馬市の充実した支援を活用できるので、安心です。

3 募集要項

開講期間	令和6年4月～令和7年3月（1年間／2学期制） 【前期】令和6年4月8日（月）～令和6年9月30日（月） 【後期】令和6年10月1日（火）～令和7年3月14日（金） 令和6年4月4日（金） 入学式・オリエンテーション 令和7年3月14日（金） 卒業式
開講場所	みらい農業学校 及びは場（南相馬市小高区南鳩原字西畑76番1）
開講時間	【通常】9:00～12:00 / 13:30～17:30 【サマータイム】※6月19日（水）～9月8日（日）予定 前半（6月中旬～7月初旬）7:00～11:00 / 12:00～16:00 後半（7月初旬～9月初旬）6:00～11:00 / 12:00～15:00
総受講時間	1,562時間（予定） / 週5日程度 / 全日制
カリキュラム	準備中
課外プログラム	日本農業技術検定受験（2・3級） 農業簿記検定受験（2・3級） 地域農業法人での短期研修、マルシェでの販売実践等
定員	15名以内
入学要件	年齢基準はありません。（高等学校卒業程度の学力を有すること） 普通自動車一種免許保有 ※願書等により選考のうえ、受講生を決定します。
費用	受講料 300,000円（税込） ※「農業技術の教科書」（アグリイノベーション大学校監修・マイファーム監修）及び学校指定教科書代金含む。 ※講義会場までの往復交通費については各自の負担となります。 （自動車・原動機付自転車等の所有を推奨） ※大型特殊免許等の取得費用は自費になります。 検定等受験料 11,180円（税込） ※日本農業技術検定受験料7,330円、農業簿記検定受験料3,850円。 損害保険料 およそ15,000円 ※不慮の事故やケガに備え、全員に加入していただいております。 その他諸経費 およそ25,000円
募集期間	令和5年7月15日（土）～令和6年3月8日（金） ※募集期間中であっても定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

4 入学までの流れ

STEPⅠ 現地見学会 or オンライン説明会への参加

まずは、開講前に開催する現地説明会又はオンライン説明会にご参加ください。
年間カリキュラムや学校生活、サポートの制度などについてご説明します。
現地や雰囲気を知っていただき、納得いただいたうえで入学をご検討ください。

STEP2 出願

みらい農業学校の受講生募集サイトから願書をダウンロードし、
必要事項をご記入のうえ、募集期間内に送付してください。

みらい農業学校 受講生募集サイト <https://agri-innovation.jp/mirai/>

※サイトからのダウンロードが難しい場合、電話・メールで事務局までご相談ください。

STEP3 選考

厳正なる審査のうえ、第Ⅰ期受講生を決定します。
なお、募集期間中は、毎月末日に締め切り、審査を実施します。
募集の最終締め切りは3月8日（金）必着ですが、募集期間中でも定員に達し次第募集を締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

STEP4 合否通知

募集期間中、毎月末日までに到着した願書を
翌月第Ⅰ週に審査し、一週間程度で合否を通知します。

STEP5 入学手続

入学手続は、合格者にお送りする「入学手続の手引」に従って手続をお願いします。
手続は、合格通知日から1ヵ月以内（3月中に選考の方は3月中まで）にお願いします。

各種資料の送付先

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町2丁目27番地
南相馬市役所イノベ政策課
みらい農業学校開設準備窓口 宛
電 話 0244-24-5406
メー ル innovation@city.minamisoma.lg.jp

5 具体的な選考基準

願書を送付いただいた方については、以下の選考基準に基づき審査を行い、入学の可否について決定します。

審査は、願書による書類審査により、総合的に評価します。

本学では、雇用就農後に活躍でき、地域の農業を牽引できる農業リーダーの育成をしていきたいと考えていることから

求める人材として

- ① 卒業後に雇用就農を希望していること
 - ② 地域の農業を牽引していきたいという想いを持っていること
- の2点を重視します。

審査基準

- ① 志望動機
- ② 農業を学ぶ意欲
- ③ 農業への想い（将来、どのような就農形態や農業のかたちを目指していくのか）

※公平性を期すため、具体的な審査方法については、お答えできません。

※願書に虚偽があったことが判明した場合、入学の資格が取り消しとなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※審査結果に対する異議は受付いたしかねます。

6 受講料のお支払い方法

受講料は、「入学手続の手引」を参照し、入学後にお支払いいただきます。

お支払い方法は、分割納入・一括納入の2つの方法からお選びいただけます。

分割納入 年額の受講料を12回に分割して納入

各月納入額 25,000 円（納入期限は毎月末日）

※3か月分、半年分、一括でまとめて納入することも可能です。

※ 損害保険料・検定等受験料については、額が確定次第、入学前にご案内します。

7 各種助成制度

みらい農業学校への入学にあたり、南相馬市への就農・移住に対する助成がありますので、ご活用ください。



東京都在住
20代後半
男性会社員

農業法人に転職したいけど
農業の仕事にちょっと不安…

【家族構成】独身
【収入】350万円【貯蓄】100万円
【趣味】アウトドア、サーフィン
【悩み】会社内での人間関係に疲れている。
【動機】農業体験以降、農業に興味を持っており、デスクワークより、自然と触れ合いたい。

学びのサポートだけじゃない
卒業後まで ずっとサポート



現地見学ツアー

農業学校のカリキュラムや施設の案内だけでなく、生活がイメージできるように街中をご案内します。実際に来てみると、生活のイメージも湧きますよ。



入学時の支援

ふくしま12市町村
移住支援交通費等補助金

移住に必要な現地活動等を行った場合の交通費や宿泊費を補助します。

【東京都・南相馬市の場合】

宿泊費：1泊（上限）**2,500円**
交通費：1回（上限）**8,000円**

移住検討者市内活動
交通費支援補助金

県外在住者が、市内で移住検討活動を行う際の各種利用料を補助します。

レンタカー利用料（上限）**13,200円**
タクシー利用料（上限）**19,860円**

住宅探し

学校生活は1年間。住まい探しも重要！受講生の住居確保を優先的にサポートします。ただ、地方都市なので自家用車は必須です！



在学中の支援

地域対応活用住宅
（市営住宅）の提供

移住して、農業学校を受講する場合、低廉な額で市営住宅に入居できます。

期間：原則1年以内

家賃：**17,500円～**

※家財道具は、ご自分で準備が必要です。（家財の1年間のレンタル制度もあります）

住宅購入等世帯
定住促進事業奨励金

南相馬市民として5年以上住み続ける意思のある対象世帯が、住宅を新築購入する際に奨励金を交付します。

奨励金 **100万円**

※その他、市が設定する要件を満たした場合、加算金があります。

学校での学び

全国で農業学校・農業塾等の多数の実績がある（株）マイファーム監修のカリキュラムにより、質の高い学びを習得できます。



農業次世代人材投資資金
就農準備資金

みらい農業学校で学び、就農を希望する方は、準備資金が受け取れます。

年間最大 **150万円**

※就業予定時の年齢が、49歳以下の方が対象になります。

農業資格取得支援事業

市内で新たに農業を営む方の免許取得に要した経費の一部を補助します。

受講料の **1/2** 相当額

【対象資格】
準中型自動車第一種、中型自動車第一種、大型自動車第一種 など

法人への就職

優良農業法人と連携しているため、在学中のインターンやアルバイト、農業法人とのマッチングなど、卒業後も安心して働けるようサポートします。



就職時の支援

移住就農者家賃支援

市外から南相馬市に移住就農した場合、賃貸住宅の家賃の一部を補助します。

（市が設定する地域要件を満たした場合）
家賃の3/4、月額上限6万円、最長2年

最大 **144万円**

※申請時点で本市に住所を有して1年以内であること。

奨学金返還支援事業補助金

市内に定住して市内農業法人に就農する方の奨学金返還額を補助。

年間上限18万円

最大 **300万円**

キャリアアップ

学校を卒業してからが農業の本番。学校での学びに加え、本校では、地域農業者と一緒に学べる機会を提供。地域との繋がりを作りながら、スキルアップ・キャリアアップを図ります。



農業次世代人材投資資金
経営開始資金

新たに独立・自営就農される方が、国が設定する要件を満たした場合、経営開始資金が受け取れます。

最大3年間、年間150万円

最大 **450万円**

農地賃借料支援

市が設定する区域内で営農するために農地を借り入れた方を対象に、その借費の一部を補助します。

最長5年間、年間最大15万円

最大 **75万円**

南相馬の豊富な支援

農業の支援だけでなく、子育て等の支援も充実！
東北初！「日本子育て支援大賞2023(自治体部門)」を受賞！

「産後1年」保育も「産後2年」保育も
3つの完全無料化+



産後1年、産後2年、産後3年
切れ目ない支援が充実



南相馬市移住定住サイト
「みなみそうまからはじめよう」

南相馬市の
詳細な情報や
支援制度は
こちら！

学校選択時の支援

(1) ふくしま 12 市町村移住支援交通費等補助金

移住を検討している方が、実際に福島県の浜通り地域の 12 市町村を訪れ、移住する際に必要な現地調査・現地活動を行った場合に、その交通費及び宿泊費を補助します。

みらい農業学校の現地説明会に参加する際にも活用できますので、ぜひご活用ください。

例：東京から電車でお越しの場合、交通費 8,000 円の補助、宿泊した場合+2,500 円の補助が加算されます。

(2) 移住検討者市内活動交通費支援補助金

県外在住者で市内への移住・定住の意思のある方が、市内で移住検討活動を行う際のタクシー利用料およびレンタカー利用料を補助します。(1 人あたり 1 年度 3 回まで)

レンタカー利用料金：上限 13,200 円(1 回の申請につき)

タクシー利用料金：上限 19,860 円(1 回の申請につき)

在学中の支援

(1) 地域対応活用住宅（市営住宅）の提供

みらい農業学校に入学を希望される方には、在学中は、(原則 1 年間)、低廉な家賃で小高区内の市営住宅を提供します。

家賃は前年の収入をもとに算定されますが、離職が伴った移住であれば、17,500 円～の家賃額が適用されます。

なお、入居時には、連帯保証人が必要で、戸数には限りがあります。詳しくは、開設準備事務局までご相談ください。

※条件により入居期間を延長できる場合もあります。

(2) 住宅購入等世帯定住促進事業奨励金

南相馬市民として 5 年以上住み続ける意思のある、多世代同居世帯、近居世帯、多子世帯、移住定住世帯が住宅を新築、購入する際に 100 万円の奨励金を交付します。

○加算金

旧避難指示区域での住宅取得、転入後 5 年以内での住宅取得：25 万円

空き家を解体し、その敷地に新築した場合：50 万円

(3) 農業次世代人材投資資金（就農準備資金）

みらい農業学校は国が実施する「就農準備資金」の認定研修機関として現在申請中です。

認定後、卒業後の進路として就農を希望し、国が設定する交付条件を満たす場合、受講期間中に年間最大 150 万円の給付を受けることができます。

（４）多様な担い手育成・確保事業補助金（移住就農者家賃支援事業）

市内で新たに農業を営む方等の免許取得に要した経費の一部を補助します。

※対象資格は、準中型自動車第一種、中型自動車第一種、大型自動車第一種、大型特殊自動車第一種、けん引自動車第一種となります。

就農時の支援

（雇）…雇用就農時の支援 （独）…独立就農時の支援 （共）…共通

（１）多様な担い手育成・確保事業補助金（移住就農者家賃支援事業）（雇）

南相馬市外から南相馬市に移住就農した方に、民間賃貸住宅の家賃を最長 2 年間、月額最大 6 万円補助します。

補助率は、市が設定する地域要件を満たした場合 4 分の 3、それ以外の場合 2 分の 1 となります。

（２）移住推進住宅支援事業補助金（共）

南相馬市に 5 年以上居住する意思をもって、市外から転入した 43 歳の未満の方が、相双地方で就業又は開業し、市内の民間賃貸住宅に入居した場合、家賃を最長 3 年間、月額 1 万円を補助します。

※小高区に居住する場合、月額 5 千円を加算。

（３）奨学金返還支援事業補助金（共）

日本学生支援機構などの奨学金の貸与を受けている方が、市内農業法人に就農し、南相馬市に定住する場合に年間最大 18 万円（前年度返還額の利子分を除いた額）を補助限度総額 300 万円まで補助。

（４）農業次世代人材投資資金（経営開始資金）（独）

新たに独立就農や自営就農をされる方が、国が設定する交付要件を満たす場合、最大 3 年間、年間 150 万円の給付を受けることができます

（５）多様な担い手育成・確保事業補助金（農地賃借料支援事業）（独）

市が設定する区域内で営農するために農地を借り入れた方を対象に、その借費について最長 5 年間、年間最大 15 万円を補助します。

（６）多様な担い手育成・確保事業補助金（新規就農給付金事業）**独**

農業の初期段階の支援として、市内に居住し、市内で新たに農業を営む 45 歳以上 65 歳未満の青年就農計画またはそれと同等の計画の認定を受けた方を対象に、年間最大 48 万円を最長 3 年間交付。

（７）多様な担い手育成・確保事業補助金（農業用機械購入支援事業）**独**

市内で新たに農業を営む方（経営面積 30 a 以上または農作物販売金額が年間 50 万円以上）並びに新規就農者を雇用する農業法人等向けに、生産・流通・販売等に必要な機械を導入する経費の一部を補助します。（補助率 3/4 以内、補助上限額 100 万円）

その他、南相馬市は、移住支援や子育て支援が充実しています。

詳しくは、下記ＨＰ「南相馬市はこども・子育てを本気で応援します」をご覧ください。

<https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/childcare/syoshikataisaku/20981.html>



8 講師一覧

「みらい農業学校」の講義では、実務経験豊富な農業経営者・農業技術の専門家らが講師を担当します。



◆石原北斗

アグリイノベーション大学校 学長

10年間のアグリイノベーション大学校の講義カリキュラムの責任者を務め、変わり続ける外部環境や農業現場の実態に合わせたカリキュラムを構築してきた。最先端情報を収集し、受講生に分かりやすい授業に落とし込む経験を豊富に持つ。



◆藪島一匡

合同会社 Amahoro 代表社員

米国認定 CPCC プロフェッショナルコーチ/CCC 社 レゾナントリーダーシップ修了。水産商社、農業法人勤務等を経て、農林水産分野で経営者、学生向けにコーチングスキルを活かした研修をおこなう。



◆佐川友彦

ファームサイド株式会社 代表取締役

講演活動や経営コンサルティングで全国各地を周り、農家の経営体質改善を旗振りしている。バックオフィスから組織開発、ブランディングまで広範囲において実務経験が豊富であり、総合的な講義と指導には定評がある。



◆藤原拓真

ウォーターセル株式会社 執行役員

営業・マーケティング部門の立ち上げ及び生産・経営管理システム「アグリノート」の全国向け広報活動に従事。各地の経営塾や教育機関でも、スマートアグリの推進に取り組む。農業経営の現場での ICT 活用事例とデータ活用に精通。

9 開講場所

みらい農業学校は、旧鳩原幼稚園を農業校施設に改修し、その施設を活用して授業を行います。

福島県南相馬市小高区南鳩原字西畑76番1

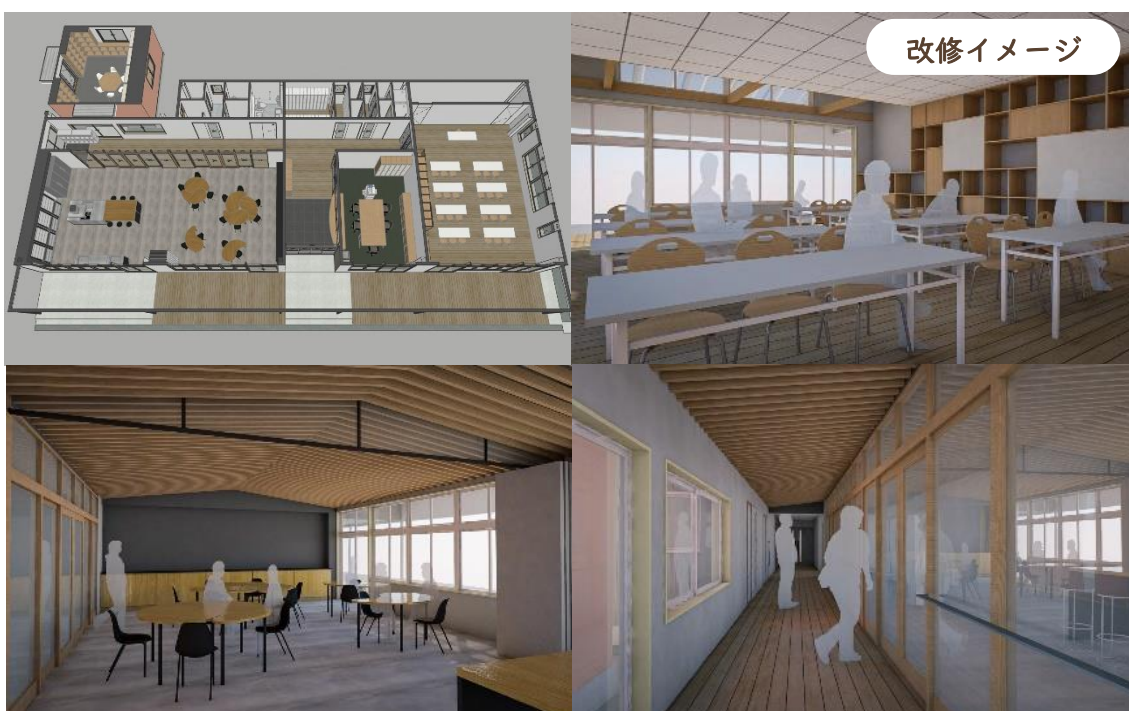
【電車でお越しの場合】

JR小高駅から車で10分（常磐線特急で東京駅から約3時間半）

【車でお越しの場合】

いわき・東京方面より 常磐道・浪江ICより約15分

仙台方面より 常磐道・南相馬ICより約20分



<みらい農業学校 園場>

福島県南相馬市小高区南鳩原地内（校舎周辺）

学校専用農地（約1.9ha）にて栽培実習を行います。

